

別添 <これまでに採択された研究一覧>

年度	支給額	研究タイトル	研究代表者所属	研究代表者
平成 25 年	360,000 円	アドレナリン自己注射器使用症例の集積調査	あいち小児保健医療総合センター小児科	伊藤 浩明
平成 26 年	600,000 円	新規メタアナリシス手法を用いた吸入ステロイドの効果比較	京都大学大学院医学研究科薬剤疫学教室	竹内 正人
平成 27 年	1,000,000 円	小児食物アレルギー児とその養育者の日本語 Q O L 調査質問紙の開発と有用性の検討	国立病院機構福岡病院小児科	本村知華子
平成 28 年	990,000 円	食物アレルギー児に対する少量維持経口免疫療法における連日摂取と週 2 回摂取の有効性の比較 -評価者盲検、オープンランダム化並行群間比較試験-	浜松医科大学小児科学教室	夏目 統
平成 29 年	1,000,000 円	食物アレルギー即時型症状に対するステロイド薬の有効性の検討	あいち小児保健医療総合センター	松井 照明
平成 30 年	1,000,000 円	実臨床における小児ダニ舌下免疫療法の効果に関する研究	都立小児総合医療センターアレルギー科	吉田 幸一
令和元年	1,000,000 円	定型負荷試験食を用いた食物経口負荷試験の安全性に関する研究	国立病院機構相模原病院小児科	柳田 紀之
令和 2 年	1,000,000 円	運動により誘発される即時型アレルギー症状の予後と予後に関連する因子の検討	あいち小児保健医療総合センター アレルギー科	杉浦 至郎
令和 3 年	985,000 円	鶏 卵 に よ る Food protein-induced enterocolitis syndrome(FPIES) の発症関連因子と予後規定因子の解明に関する多施設共同研究	慶應義塾大学医学部小児科学教室	明石 真幸
令和 4 年	1,100,000 円	種実類（クルミ・カシューナッツ・ピーナッツ）アレルギーと経皮感作の関連を室内抗原暴露量で検討する（多施設共同横断研究）	八尾市立病院小児科	濱田 匡章
令和 5 年	1,000,000 円	麦アレルギーの交差性の解明と大麦コンポーネントの探索研究	国立病院機構三重病院小児科	有馬 智之
令和 6 年	1,000,000 円	ベンチマークドーズ法を利用した食物経口負荷試験の結果予測方法の開発と診断支援アプリケーションの実臨床での検証	国立病院機構相模原病院臨床研究センター 臨床研究推進部 疫学統計研究室	高橋 亨平